

ハ小作争議ノ重要性ヲ少シク過少評價スルモノデハナク、却ツテ一層重要性ヲ増大セシメル。農村ニ於ケル闘争ハ小作争議ヲ重要闘争トラシメルデアラウ。

農村ニ於ケル革命的分子ハ小作争議ヲ發端トスル大衆行動ニ農民委員會ニヨリ動員、結集サレタ廣汎ナ大衆ノエネルギーヲ結集シソレテ土地革命ノ爲ノ偉大ナル革命的大衆行動ニ發展セシムル事ニ最大ノエネルギート多量自由ナルイニシアチヴヲ發揮セネバナラス。農村労働者ノ獨立ナ組織モ亦農民委員會運動ト共ニ我黨ヲラクニヨリ全農第二回大會ニ提案サレ諸君ノ支持ヲ得タモノデアルガ、日本ニ於テハ約八十万ノ農業プロレタリアイトガ居ル、ソノ他ノ農村ノプロレタリア分子ハ三百万以上（貧農ト重複スル部分ガ可成アルガ）ニモ及ビ、コレヲノ要素ハ最近マデ農村ニ於ケル階級闘争ノ舞臺ニ餘リ重要ナ役割ヲ演ジナカッタトハ雖モ、彼等ノ大部分ハ土地ヲ全ク所有セヌ、他ノ生産用具ヲサヘ殆ンド持タヌ許リデナク、故モ背

階ナ資本家地主ノ採取ト隷屬ノ許ニアル。恐慌ノ深化ハ益々彼等ノ待遇ヲ劣悪ナラシメ、窮乏ノ極ニ導クニ至リ、各地ニ於テ自然發生的ニ要求ヲ提出シツ、アル。昨日マデハ最も遅レタル層モ一旦自覺シ闘争ノ自信ヲ得ルヤ偉大ナ革命力ヲ發スルノデアアル。此ノ事ハ「中國」ニ於ケル農村労働者ノ闘争ノ強大サヲ見ル事ニヨツテ知ル事ガ出來ル。

日本ニ於テモ最近各地ニ於テ農村労働者組織ガ進展サレ、果實圖菜園ノ農業労働者、作男、瓦工、貝釘工、鼻緒工等ノ農村ニ居住シ農民經濟ト密接ニ結合シテ手工業労働者ガ數々闘争ニ起テ上リ、農業失業者、農村女工等ノ活動モ擴大シツ、アル。特ニ三重、奈良デ闘ハレテキル失業者同盟ノ闘争ハ注目スベキデアアル。多數ノ農村ノ労働者ノ要素ヲソノ成員トスル全國水平社ハソノ大會ニ於テ既ニソノ民族的結合ヲ階級的組織へ發展的ニ解体再組織スベキ事ヲ決シテキル。